

富士吉田市デジタル田園都市構想第3期地域創生総合戦略原案に関するご意見と回答

○意見等の募集期間: 令和5年11月18日(木)～12月15日(金)
○意見等の受付人数: 2人
○意見の件数: 延べ3件 (同一人物に複数意見がある場合は、項目に分類を行ったうえ、それぞれ一件のご意見として整理しています。)

整理番号	項目	意見の趣旨	市の考え方	計画(原案)修正の有無	計画(案)記載P
1	富士山火山対策、降灰対策について	富士山火山対策、特に降灰対策について2014年の大雪被害の例もあり、心配しています。	富士山火山対策については、広域的な課題として本市のみならず山梨県や静岡県側の市町村、火山専門家や国等関係機関と連携し、様々な火山災害事象について対策を現在検討しており、ご意見のあった降灰対策についても、適切な避難行動の設定や訓練の実施により誰一人取り残さない避難体制の構築、火山灰の処理方法等の検討、降灰後降雨による土石流対策(砂防事業)も行っております。 地域創生を目的とする本計画では、防災訓練の実施により、地域の方々への防災意識の啓発および避難体制の周知を図っていくとともに火山対策のみならず広く防災という観点においてデジタルの力を活用し、防災ラジオの配布や防災アプリの普及など、災害時の情報伝達手段の強化を図っていく、安心・安全なまちづくりを目指していくこととしています。	記述済み 無	P36④安全・安心のまちづくり ・富士山火山災害に係る対策の強化 ・通信事業者等と連携した地域情報発信の強化 ・スマートフォンを活用したアプリによる情報の発信
2	地域公共交通と高齢者移動支援体制の充実について	コミュニティバスについて、デマンド型交通を導入すればどうか。 また、高齢者の外出支援体制についてももっと充実してほしい。	今後の地域公共交通のあり方については様々な施策の検討を重ねているところですが、ご意見にありますデマンド型交通に関しては、すでに導入している先進自治体から話を伺う中で、費用対効果や相乗り実績が非常に少ないという要因から、現時点ではデマンド型交通が本市の公共交通を担えるものとは言い難く、既存のタウンズニーカーやタクシーをメインとした公共交通のあり方を優先していくという考え方に至っております。 上記の考え方をふまえ、本計画においても、70歳以上の高齢者のタウンズニーカー無料化等バス、タクシーの利用を中心とした外出支援の取組を行うとともに、ドライバー不足に対しても、自動運転EVバス実装に向けた実証実験を行うなど、地域公共交通が持続可能性を持ちながらも利便性を高めるための取組を行っていくこととしています。	記述済み 無	P27⑤交通ネットワークの整備 ・地域公共交通の利用促進
3	公園施設の改善について	恩賜林、農村公園、明見湖公園等車で行くような散策公園にはよく行くが、市街地にある徒歩でいける公園について、噴水等水に触れあえる施設等を活用して誰もが気軽に立ち寄れる心地よい場にしてほしいです。	街区公園につきましては、緑の空間として、また災害発生時の一時避難所としての役割も兼ねた、地域の皆様の憩いの場であるとの認識のもと、落ち着いた住環境の維持のため再整備ほか適正配置整備に努めていきます。 また、噴水等親水施設に関しては、浄水施設の水質の問題や、代替で使用する場合の井戸水の水温、施設の老朽化等の課題もあるところですが、水面や水の流れは人々の心をいやす効果があること、また近年の異常気象に対する猛暑対策としても、街中の既存公園へ子どもたちが安全で気軽に水と触れ合える施設の設置について、内容や規模、管理の方法等を調査研究してまいります。 頂いたご意見を踏まえ、魅力的なまちづくりの一環として調査研究の上、本計画においても具体的な取組となった際に追加させていただきます。	修正なし	